

夏真っ盛りですね！こまつがわ農園のミニトマトとアオジソが大きく育ったので、先日収穫をしました。利用者と職員が各々持ち帰り、堪能したようです。シソとミニトマト、実は一緒に植えるのに相性のよい組み合わせだといいます。こういった組み合わせを「コンパニオンプランツ（共生作物）」と呼びます。水を多く必要とするシソが余分な水分を吸収することで、水をあまり必要としないミニトマトの甘味が増すということです。



当農園のゴーヤ、あまり育っておらずみんな心配していましたが、先日ようやくかわいい実をつけることができ、ホッとしています。さて、ゴーヤの代表的な料理として、ゴーヤチャンプルーがありますね。チャンプルーとは、沖縄の方言で「混ぜこぜにしたもの」というような意味です。語源には諸説ありますが、「ちゃんぼん」の沖縄方言読みである「チャンプン」からの変化というものが有力のようです。



8月にはお盆がありますね。お盆といえばナスとキュウリの飾り物。ナスの飾り物は精霊牛（しょうりょううし）、キュウリは精霊馬（しょうりょううま）と呼びます。キュウリで作る精霊馬はご先祖様が早く帰ってこられるように、足の遅い精霊牛はご先祖様がこの世でゆっくりできるよにという意味が込められています。なおこの2つの飾り物、食べてはいけないそうです。白い紙で包み、塩で清めるなどして処分するのが一般的です。

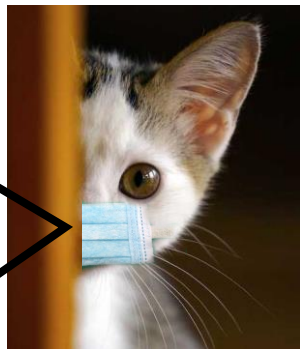


<ボランティア紹介>

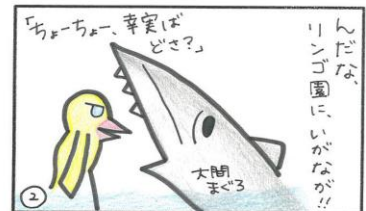
こんにちは♪ボランティアの笠井です。センターこまつがわが開所してから「事業所交流スポーツ」、「地域交流バレーボール」に参加させていただいております。メンバーの皆さんとスポーツで汗をかくのが楽しみで、毎週はるる横浜から通っています♪

そして、月1回のランチ会もお手伝いしています。ボランティア一同、メンバーの皆さんと協力して、腕によりをかけてランチを作っています。一緒においしいランチを作って、みんなでわいわい食べませんか？ぜひご参加ください♪

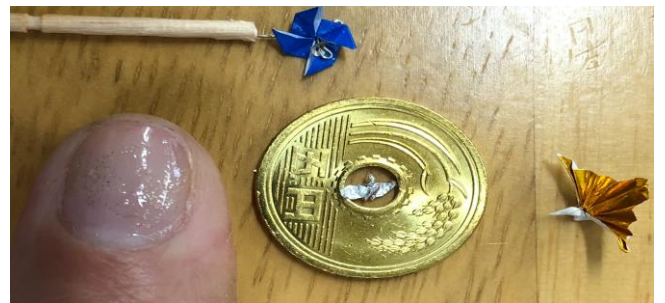
スポーツ楽しいニャ♪バレーでたくさん動いたのでお腹が減ったのニャ。こんなところにランチ会の豚汁が！つまみ食いだニャ！あちち猫舌だったのを忘れていたのニャ…。



よっぴーの遠行記 ～青森編～ 原画：斉藤 吉夫



当センターの利用者、渡部敏雄さんは折り紙の名人！今回は渡部さんの職人芸の数々を紹介します。五円玉の穴に入るほど小さい折り鶴は特に必見です。



ひらいるミナルHP・Facebook・Instagramあります。ぜひスマホでご覧下さい。

ホームページ



Facebookもチェック



Instagram

